

競 技 注 意 事 項

2026.9.6

1. 本大会は、2026 年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定により運営する。

2. 招集について

(1)競技者は出場種目の招集開始時刻より完了時刻までに招集場にて競技者係にアスリートヴィブス番号を申し出、競技者係のチェックを受けたのち、トラック競技出場者は腰ナンバーカードを受け取り、各自で競技場所に移動する。さらに競技場所で役員による最終コールを必ず受けること。最終コール時に競技場所にいない場合は競技に出場できない。

(2)競技を棄権する選手はあらかじめ競技者係にその旨を申し出ること（代理人でもよい）

(3)招集は下記の通りとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目	競技開始時刻の 30 分前	競技開始時刻の 20 分前
フィールド種目	競技開始時刻の 50 分前	競技開始時刻の 40 分前

(4)選手の招集は、100mスタート側A倉庫前で行う。

(5)リレーの招集については競技開始時刻の1時間前までに、招集場に張り出された用紙に走順番の記入をすることで招集完了とする。なお、第4走者は腰ナンバーカードを招集完了時刻（競技開始1時間前）までに競技者係のチェックを受け競技者係から直接受け取ること。

3. 各自登録番号のアスリートヴィブスをユニフォームの背と胸につけること。

跳躍競技については、アスリートヴィブスは1枚でもよい。

4. トラック競技出場者は、写真判定用の腰ナンバーカードをパンツの右側後方につけること。

シール式腰ナンバーカードであるため、はがれやすい素材のユニフォームについては安全ピン等で補強すること。（安全ピンは招集所に用意）

5. 制限タイムを設定する種目は次の通りとし、それまでにゴールできない場合は失格とする。

（監察員の指示に従い、速やかに競技を中断すること。）

種目名	中学男子高校一般女子 3000m	高校一般男子 5000m
制限タイム	15 分 00 秒	20 分 00 秒

6. 走高跳のバーの上げ方は、次の通りとする。

男走高跳	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.78 以降 3cm きざみ
女走高跳	1.10	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55 以降 3cm きざみ

*ただし練習の高さと競技開始の高さは、競技者の意向を踏まえてフィールド主任が決定する。

7. 走幅跳、砲丸投は3回の試技でトップ8を決定ののちトップ8によりさらに3回の試技を行い順位を決める。

8. 使用するスパイクピンは、9mm以下の全天候用ピンとする。（ただし走高跳においては12mm以下とする。）

スパイクおよびシューズのソールの厚さ等の規定は日本陸上競技連盟が定めたとおりとする。

9. トラックのレース順、フィールド競技の試技順はプログラム記載通りとする。

リレー競技に出場するチームは、上衣は同一ユニフォーム、下衣は同色で参加しなければならない。

10. 中学男女高校一般男女 100m 高校一般男子 200m はタイムレース予選とする。中学男女、高校一般女子 200m 予選は着順により決勝進出者を決定する。400m以上のトラック競技については予選を行わず、2組以上に分かれる場合はタイムレース決勝とする。

11. 3位までの入賞者には金・銀・銅のメダルを授与する。また各部ごとに優れた記録を残した選手には各部1名優秀選手賞の盾を贈呈する。

12. 競技中のフィールド内およびホームストレート側でのウォーミングアップは禁止する。競技に支障のない範囲でバックストレート側または競技場外で行うこと。（ただし400m, 800m, 1500m, 3000m, 5000m 競技中はバックストレート側の8レーンの外側に出ること。）

競技開始の10分前までは競技場内全面でのウォーミングアップを許可する。ただし備え付けの用器具以外の設置は認めない。

13. ホームストレート側の本部前、記録室前、アナウンサー室前の競技者の通行は禁止する。